



【ポートラーザ+ゲムシタピン+シスプラチン療法について】



様



コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
薬の名前	作用	めやすの時間																						
ポートラーザ注	抗がん剤です	1時間																						
アプレピタントカプセル	吐き気止めです	1日1回 内服																						
デキサート注	吐き気止めです	30分																						
パロノセトロン注	吐き気止めです	30分																						
ゲムシタピン注	抗がん剤です	30分																						
シスプラチン注	抗がん剤です	1時間																						



この週はお休みです。

★治療日は、点滴開始～シスプラチン投与終了までに1000mL以上の水分をとりましょう。

治療翌日、翌々日は食事など通常の摂取量に加えて、1日あたり1000mL程度の水分を追加摂取しましょう。

😊 治療による副作用

: 注意が必要な時期

			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚症状	発熱	悪寒、発熱があるときはお知らせください。																						
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																						
	血管痛・静脈炎	点滴の途中に、注射部分やその周りに違和感や痛みなどがあればお知らせください。																						
	口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																						
	皮膚症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)	にきびのような発疹がでたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。																						
	手足のしびれ	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																						
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																						
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																						
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																						
	電解質異常(低Mg血症など)	マグネシウム値が低い場合はマグネシウム補正や心電図検査を行うことがあります。																						
	腎機能低下	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																						
	肝機能低下	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																						



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。
- * 自動車運転等を行わないよう注意が必要です。主治医の指示に従ってください。